

平成15年度東北海区海況予報

平成15年12月9日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2003年12~2月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏(36°N~37°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並に推移する。
- (3)三陸沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(39°N付近まで)で推移し、常磐近海に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(142°30'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2003年9月~2003年11月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並で推移した。
- (2)8月以降、三陸沖に暖水塊が停滞している。
- (3)親潮第1分枝の南限は、9月には平年並~やや北偏(42°N~41°N)であったが、10月以降は平年並~やや南偏(41°N~40°N)で推移した。
- (4)表面水温は、北海道・東北沿岸で平年より低めで推移した。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、9月~11月にかけてやや強勢~強勢(143°E~143°20'E)であった。

(現況(2003年11月下旬~12月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°50'N)である。
- (2)暖水塊が、トドヶ埼沖約110kmにある。
- (4)冷水域が、常磐沖にある。
- (5)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(41°N)傾向にある。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°50'E)である。

注: 現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西, 「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による